横浜開港資料館所蔵

フォーサム2025横浜　モーニングセミナー1（MS1）

感染性結膜炎から角膜炎まで：
病原微生物別に考える適切な診断と治療

日時　2025.7.12（土）7:30～8:30

会場　第1会場（パシフィコ横浜会議センター 5F 501+502）

座長

宮﨑 大 先生（鳥取大学 教授）

1989年　大阪大学医学部卒業
1997年　ハーバードメディカルスクール スケペンス眼研究所 研究員
2000年　大阪大学大学院修了
2002年　鳥取大学医学部附属病院眼科 助手
2004年　鳥取大学医学部附属病院眼科 講師
2018年　鳥取大学医学部附属病院眼科 准教授
2022年　鳥取大学医学部視覚病態学 教授

眼感染症は外来においてよく遭遇する疾患であり、ホストと環境の他に微生物が絡み合って疾患を形成します。そのため、原因となっている起炎微生物を検出し、その薬剤感受性を測定することは最も重要なステップであり、それが不明なままでは十分な治療を行うことはできません。しかし、前眼部・外眼部においては非病原菌が結膜嚢や皮膚に常在菌として存在しているため、分離培養を行って検出された菌が必ずしも起炎菌であるとは限りません。

そこで、本セミナーでは「感染性結膜炎から角膜炎まで：病原微生物別に考える適切な診断と治療」と題し、2名のスペシャリストにご登壇いただくことにしました。

戸所先生には、角膜感染症を取り上げていただき、予後不良を生じやすい真菌やアカントアメーバを中心に鑑別方法と治療法を解説いただきます。江口先生には病原微生物を特定しにくいウイルスおよび細菌感染による結膜炎症例の鑑別および治療について解説いただきます。

夏の涼しい時間帯に、多くの先生方がご来場いただけることを心待ちにしています。

演題／演者

1 角膜炎における真菌・アカントアメーバ感染の鑑別と治療

戸所 大輔 先生（群馬大学 准教授）

1997年　群馬大学医学部卒業、群馬大学眼科入局
1999年　佐久総合病院眼科
2001年　群馬大学附属病院眼科
2002年　群馬大学医学部細菌学教室（大学院）
2008年　群馬大学附属病院眼科 助教
2009年　スケペンス眼研究所
2010年　マサチューセッツ眼科耳鼻科病院
2011年　群馬大学附属病院眼科 助教
2015年　群馬大学附属病院眼科 講師
2017年　群馬大学医学部眼科 准教授

2 感染性結膜炎の診断と治療

江口 洋 先生（近畿大学 准教授）

1995年　徳島大学医学部卒業
1995年　徳島大学医学部附属病院眼科 医員
1996年　学校共済組合四国中央病院眼科 医員
1998年　徳島大学医学部附属病院眼科 医員
2000年　徳島大学医学部附属病院眼科 助手（現助教）
2002年　西オーストラリア大学 Lions Eye Institute 研究員
　　西オーストラリア大学Royal Perth Hospital 臨床助手
2003年　徳島大学医学部附属病院眼科 助手（現助教）
2005年　徳島大学医学部附属病院眼科 講師
2013年　香川大学医学部分子微生物学 非常勤講師（兼任）
2015年　近畿大学医学部堺病院眼科 准教授
2016年　香川大学医学部分子微生物学 客員研究員（兼任）
2018年　近畿大学医学部眼科学教室 准教授

共催：第61回日本眼感染症学会／日東メディック株式会社

ZZ0603A25A
2025年5月作成（C）